

中国自然歩道 穴道湖西岸モデルコース



コース全体地図

1	島根県立青少年の家「サン・レイク」	0.5 km	7分
2	国道431号合流点	0.5 km	8分
3	出雲路自転車道起点	1.7 km	25分
4	穴道湖グリーンパーク	2.7 km	40分
5	瀬橋北詰	1.3 km	20分
6	島村橋	3.9 km	60分
7	穴道湖西岸なぎさ公園	2.5 km	40分
8	五右衛門川左岸	1.1 km	20分
9	白鳥水門	3.3 km	50分
10	道の駅湖の川		



1 島根県立青少年の家「サン・レイク」

穴道湖北西岸に位置する小高い丘の上にある。幼児から高齢者までさまざまな年齢層の人が使える集団体験学習施設。正面玄関の前を通り抜け、遊歩道を下り国道431号へ向かう。



2 国道431号合流点

一畑電車の線路をくぐり抜け国道431号に合流する。合流点から約400m西に進んだところで国道から別れる。出雲路自転車道を示す道路標識に従って進む。



3 出雲路自転車道起点

自転車道として整備された穴道湖西岸。斐伊川左岸を歩む。1kmごとに距離標が設置されている。途中、穴道湖グリーンパークやピートープ池の側を通る。



4 穴道湖自然館ゴビウス・穴道湖グリーンパーク

穴道湖・中海や島根の河川などに生息する生きもの約180種類9,000点を大小さまざまな水槽で展示する水族館。隣接する穴道湖グリーンパークでは野鳥観察会があり、遊歩道にバードウォッチングが楽しめる。



5 瀬橋北詰

赤く塗られた瀬橋。中国自然歩道は写真の右の道を進み、瀬橋の下をくぐる。



6 島村橋

斐伊川に架かる沈下橋。橋から水面をのぞき込むと、川底まで見える。橋を渡った後、再び斐伊川の堤防を歩く。(水位が高くなっている時には注意が必要)



7 穴道湖西岸なぎさ公園

最近かなりつつつとした砂浜やヨシの茂みを復活させ、水鳥や魚がすみかになるようになった。春には野大根の花、秋から冬にかけてマガンなどの野鳥を見ることができる。



8 五右衛門川左岸

五右衛門川左岸の堤防の上に歩道が整備されている。川向こうには出雲緑結び空港が見える。



9 白鳥水門

穀倉地帯を象徴する米倉をモチーフにデザインされている。



10 道の駅湖の川

国道9号沿いにあり、観光情報の発信や、斐伊川の特産物販売を行っているほか、地元の食材を利用したレストランがある。湖の川温泉の足湯も楽しめる。



A 一畑電駅

一畑電車の駅。全国的にも珍しい、平地のスイッチバック式の駅である。駅が北に徒歩9分の位置に、酒造の神を祭る松尾神社がある。



B 湖遊館

山陰最大規模の本格的スケート場。冬季はアイススケート場などを楽しむ。6月から8月にかけては、テニステーブルなど各種一般スポーツ施設として利用できる。4月から10月の間は、隣接する穴道湖でカヌーやヨット、水上体験ができる。

コハクチョウ

冬の時期になると出雲平野には多くのコハクチョウやマガマが渡ってくるため、バードウォッチングの絶好の場となっている。場所や日によっては近くで観察することができる。
※観察する際は鳥たちを驚かさないよう、マナーを守って観察してください。



築地松

築地松とは、冬の北西の季節風に対する防風林として、民家の北西に植えられ、一定の高さに整然と刈り込まれた黒松。広々とした出雲平野の田園の中に、築地松に囲まれた農家が点在する。

湖の川温泉

低い丘陵に囲まれた田園地帯にある日本三美人の湖の一つ、因幡の八上比売(やかみひめ)が発見したと伝えられ、尼子・毛利(あまぎ・もうり)の合戦の折には、尼子方将兵の傷をいやしたといわれる。泉質は単純泉で多量のほう素を含み、皮膚病、神経痛などに効能がある。道の駅湖の川には、足湯が整備されている。